

## 最近の農政トピック

### ～「いちご王国・栃木」に新たなラインナップ～

半世紀以上にわたり生産量日本一を誇る「いちご王国・栃木」に新たなラインナップが加わりました。

令和元年 10 月に市場デビューしたばかりの「栃木 i37 号」。収量が多く、際立つ甘さが特徴で、「とちおとめ」や「スカイベリー」とともに、いちご王国をけん引していくことが期待されております。愛称（商標名）は、御賞味いただいた方からの投票結果をもとに決定します。

そして、「いちご王国」初の白いいちご「ミルキーベリー」（品種名：栃木 iW1 号）。まろやかな食感や甘さが特徴で、食べて美味しいのはもちろんのこと、その名のおりミルクのように白い果実ですので、「スカイベリー」とセットで「紅白いちご」としてお祝いの日に贈ってみてはいかがでしょうか。



栃木 i37 号



ミルキーベリー（栃木 iW1 号）

### ～県産米「とちぎの星」 令和の大嘗祭に供納～

栃木県農業試験場が開発した米「とちぎの星」は、粒が大きくしっかりしていて、冷めてもおいしいのが特徴で、那須や日光の山々を源とする良質な水と肥沃な大地のもと、生産者が丹精込めて育てています。「米の食味ランキング」では最高評価の特 A を 4 度も獲得するほどの美味しさが自慢で、燦然と輝く栃木の星となってほしい、そんな願いを込めて名付けられたお米です。

その「とちぎの星」が、皇位継承に伴い執り行われた令和の大嘗祭に供納され、日本中にその名が知られることとなりました。

その栄誉が、栃木県の農産物全体のブランド価値の一層の向上につながることを期待しています。是非、お召し上がりください。



抜穂の儀の様子

## 活動事例報告会

令和2年1月8日に開催した報告会では、隊員約 40 名が出席し、2名の隊員から取組事例が報告されました。

隊長の福田富一知事からは、「隊員の方が持つ知識やノウハウを農業・農村の発展に生かしてほしい」との言葉があり、隊員同士の意見交換が行われました。



【隊長（知事）講話】



【隊員活動事例発表】



【記念撮影】

## お問合せ先

事業の詳細について、下記の窓口にお問合せください。

お住いの地域	お問合せ先	
宇都宮市、上三川町	河内農業振興事務所企画振興部	TEL 028-626-3061
鹿沼市、日光市	上都賀農業振興事務所企画振興部	TEL 0289-62-5236
真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町	芳賀農業振興事務所企画振興部	TEL 0285-82-4720
栃木市、小山市、下野市、壬生町、野木町	下都賀農業振興事務所企画振興部	TEL 0282-23-3425
矢板市、さくら市、那須烏山市、塩谷町、高根沢町、那珂川町	塩谷南那須農業振興事務所企画振興部	TEL 0287-43-1252
大田原市、那須塩原市、那須町	那須農業振興事務所企画振興部	TEL 0287-23-2151
足利市、佐野市	安足農業振興事務所企画振興部	TEL 0283-23-1455
事業全般	栃木県農政部農政課企画調整担当	TEL 028-623-2272

本資料は下記 URL からダウンロードできます。  
<http://www.pref.tochigi.lg.jp/g01/furusatokaturyoku.html>



栃木を元気に!

ふるさと活力応援隊だより

Vol.3

ふるさと活力応援隊活躍中!



とちまるくん  
栃木県マスコット  
キャラクター



さけ頭くん(さけがしらくん)  
とちぎ食育推進キャラクター  
「しもつかれ担当」



## ふるさと活力応援隊の活動

人口流出や高齢化が進む中、農山村地域では、地域の維持や活性化に必要な人材が不足し、その結果、耕作放棄地や鳥獣被害の増加、集落機能の低下などの課題が深刻化してきています。ふるさと活力応援隊員は、県職員として現役時代に培ったノウハウを生かして、地域を元気にするための様々な“ふるさと活動”に取り組んでいます。

隊員数：100名（令和2（2020）年1月現在）

〈ふるさと活動の例〉…… 集落営農の推進、鳥獣被害防止対策、地域保全、直売所・農村レストランの運営、食育活動 など



鳥獣被害防止対策



地域保全（生き物調査）



食育活動

## 隊員の取組紹介

### 塩山 房男 隊員（宇都宮市）

#### ～農村部の資源を活用した環境活動～

塩山隊員は「NPO法人栃木県環境カウンセラー協会」の理事長や「メダカ里親の会」のコアスタッフとして、特技の「稲作り」や「水生生物」の知識を活かして、「田んぼの学校」での指導や生きもの調査活動を行い、直接、地域の親子や役員さんに環境の重要性の啓発を行っています。

特に、那須烏山市横枕地域の「ホタル祭り」や宇都宮市平石地区の「鬼怒川生きもの探勝会」では、環境カウンセラー協会の会員たちと協力して約10年間継続して活動しています。



「田んぼの学校」収穫祭の様子



生き物調査の様子

### 由田 ヤエ 隊員（鹿沼市）

#### ～地域のリーダーとして大活躍～

由田隊員は、「エコネットかぬま」の役員として、普及指導員時代の仲間の女性たちとともにCO2削減などのエコ活動に取り組んでいます。

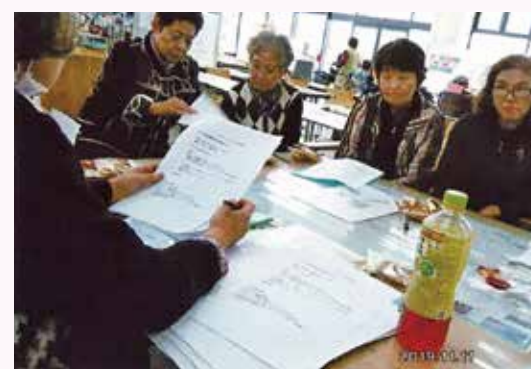
3年前からはエゴマ栽培にも取り組んでおり、栽培から搾油までの各作業において、持ち前のリーダーシップを発揮しています。

かぬまブランド推進協議会委員にもなっており、農産品部門の認定では、現役時代の経験を活かし、頼りにされる存在です。

学校給食配膳ボランティアの活動や、趣味の織物、孫育て支援など、日々忙しくもパワフルに活動されています。



エゴマの収穫作業の様子



エコネットかぬま役員会の様子

### 茂垣 敏雄 隊員（茂木町）

#### ～ブルーベリーで地域を元気に～

茂垣隊員は、現役時代に培ったむらづくりのスキルを地元で実践し、作業負担が比較的小さく高齢者でも参加しやすいブルーベリーの生産に着目して中山間地域の活性化に取り組んでいます。

地域の仲間約30名で「山内フルーツ村」を組織し、自ら庶務会計を担って運営を切り盛りしながら、剪定講習会や出荷目揃え会、さらには視察研修会を主導するなど、産地づくりと農村コミュニティの形成に力を注いでいます。

生産されたブルーベリーの果実やジャムは、道の駅などで人気のアイテムとして定着しており、今後もみんなで知恵を出し合い協力しながら、生産者の高齢化や獣害対策といった課題も乗り越えて地域を守っていかうとしています。



多品種が実るブルーベリー園



観光農園の先進事例研修会

### 中田 登 隊員（栃木市）

#### ～農村レストランから元気な地域づくり～

中田隊員は、現役時代に立ち上げに係わった農村レストラン「みずぎ庵」の専務として、店の運営や地域の活性化に取り組んでいます。

毎年11月には、新そばまつりを開催し、80名の株主とお客や地域住民との交流を図るイベントを開催しています。

オープンから20年、地域の食材を生かした料理を楽しみにお客様は年々増加していますが、従業員の高齢化、確保、新メニューの開発などの課題もでてきます。

今後も、経験や技能を生かし元気な農村づくりを継続していくこととしています。



みずぎ庵



11月の新そばまつり

### 杉田 静枝 隊員（那須塩原市）

#### ～農村地域の情報発信～

杉田隊員は、2009年から「しずえのブログ」を開業し、「地域の動き」、「私の創作料理」など記事を書き続け、その数は900を超えており、今も月に100を目標にして、ブログをアップしています。

また、那須町の「なすとらん」や就農指導協力員で指導した農家などの活動資料の作成、さらに、地域内の高齢者の集まり、困り事のボランティア、ふるさとを語る会などの様々な地域活動に積極的に参加し、地域の活性化に貢献しています。

しずえブログ URL：<https://ameblo.jp/sansai24/>



地域活動の様子（ブログ記事から）

#### テーマ

- ◆ブログ (52)
- ◆山菜 (56)
- ◆海外旅行 (13)
- ◆国内旅行 (147)
- ◆仲間の集まり (83)
- ◆私の創作料理 (88)
- ◆地域の動き (254)
- ◆楽しみ・趣味 (175)
- ◆我が家 (46)
- ◆山野草 (6)

ブログテーマも様々  
※( )内の数字は記事の数